問　次の【漢詩「春望」】を読んで、あとの問いに答えなさい。

**【漢詩　「春望」】**

**春望　　　　　　　　　　　杜甫**

【訓読文】

　　　　　　　　　　レテ　　　　　　　　　　　　リ

国　破　山　河　在

　　　　　　　　　ニシテ　　　　　　　　　　　　シ

城　春　草　木　深

　　　　　ジテハ　 ニ　　　　ニモ　　　ギ　　　　　ヲ

感　時　花　濺　涙

　　レ　　　　　　　　レ

　　　　ンデハ　　　ヲ　　　ニモ　　　ス　　　 ヲ

恨　別　鳥　驚　心

　　　レ　　　　　　　　レ

　　　　　　　　　　　ナリ　　　　　　　　ニ

烽　火　連　三　月

　　　　　　　　　二　　　　　一

　　　　　　　　　　　　　　ル　　 　　　　　　二

家　書　抵　万　金

　　　　　　　　 二　　　　　一

　　　　　　　　　　　ケバ　　　二　　　　ク

白　頭　掻　更　短

　ベテ　　　ス　　　　ラント　　へ　　　 二

渾　欲　不　勝　簪

【Ａさんの考え】

　私は、杜甫が『春望』で読者に伝えようとしているのは、長い時間変わることのない自然の営みに対して、変化していく人間のはかなさや切なさだと考えます。

　　　　　　レ　 レ　　 レ

【書き下し文】

国破れて山河在り

城春にして草木深し

時に感じては花にも涙を濺ぎ

別れを恨んでは鳥にも心を驚かす

烽火三月に連なり

家書万金に抵る

白頭掻けば更に短く

渾べて簪に勝へざらんと欲す

問１　この作品で杜甫が最も伝えたいことを、根拠を明確にして、次の条件に従って答えなさい。

条件１　二段落構成とし、第一段落に杜甫の伝えたいことを答えなさい。

条件２　第二段落に根拠となる部分を引用するとともにそう考えた理由を答えなさい。引用する部分は、かぎかっこ（「」）でくくること。

問２　杜甫が最も伝えたいことに対して、知識や経験を踏まえてあなたが考えたことを答えなさい。

問３　問１で書いたあなたの答えと、次に示す【Ａさんの考え】を、比較したり関係づけたりして、杜甫が『春望』で読者にどのようなことを伝えようとしていると考えられるか、もう一度あなたの考えを書きなさい。

問３

◆おおむね満足できる（Ｂ）と判断する解答例

・　僕の考えもＡさんと似ていて、自然という偉大なものに対する、人の一生の切なさについて書かれていると考える。杜甫はこれを読んで一人でも多くの人に、人と自然の~~差~~違いについて考え、今そばにいる家族を大切にしてもらいたいと考えているのだと思う。

・　Ａさんの考えを見て、自然と人との対比や対句から「自然の営みに対する人の切なさ」も杜甫が伝えたいことなのだと考えが深まった。私は長い時を経ても変わらない自然の営みと、戦争で命を落としたり、国が変わったりする人間の切なさの両方が伝えたいことだと考えた。

・　Ａさんと同じで、人間のはかなさや切なさも伝えようとしていると思うが、私はそれに付け加えて、戦争を行い、悲しみを広める人間のおろかさも伝えようとしていると考えました。

◆努力を要する（Ｃ）と判断する解答例

・　変わることのない自然と、どんどん変化していく人間の時代、その人間のはかなさや切なさを伝えようとしているのだと思う。（Ａとの比較がされていない）